



ホテルの一角でショートムービーを撮影する利用客

■写真・動画の全自動撮影サービス

全自動で写真と動画を撮影し、瞬間の画像をスマートフォンに配信するサービスを行うイーキューデザインは、新たな販売ルートの開拓に力を入れる。

現在は主に結婚式会場で提供しているが、レンタル着物店への納入を始めた。また、Jリーグの複数のチームも、集客を目的として試験的に導入する見通しだ。

広島康則社長は「多くの人を訪れる場所に設置することで認知度向上につなげ、普及を加速させたい」と話している。

同社が展開しているサービスは「みんなでPV」。参加者が「スマートキューブ」という装置の前に立ち、スタートボタンを押すだけで写真2枚と5秒間の動画を自動撮影する。写真や映像は自動的に補正され12秒の“ショートムービー”が作成される。個人のボイスメッセージデータも入れることが可能だ。装置は高さ180センチで広いスペースは不要。キャスター付きなので移動や設置を簡単に行え

データはクラウド上で編集され、全員参加の映像作品ができあがる仕組みだ。動画はプリントされたQRコードシートからアクセスしてダウンロードでき、披露宴の最中でも参加者同士でシェアしながら作品を楽しむことが可能だ。現在、神奈川県や千葉県などの結婚式場やホテルに導入。また、企業や商業施設のイベントなどでスポット的に活用されている。

スマートキューブは、さまざまな写真を背景として選ぶことができる点が特徴。これを武器に、今後は結婚式場やホテル以外への営業活動を強化し、新たな顧客層の獲得に力を入れる。

その一つがレンタル着物店だ。着物をまとった外国人観光客が京都や富士山といった名所や映画のロケ地を背景に映像を撮影できるサービスを提供すれば、SNS(会員制交流サイト)を通じて海外に発信され、着物文化の“輸出”につながることをアピールする。

Jリーグのチームは、サポーター増員と集客力向上を図るため、ホームグラウンドに設置してサービスを提供するとみられる。具体的な内容は現段階では固まっていないが、選手の姿が映し出された背景とともにショートムービーを作れるサービスが、プランの一つとして浮上している。

サッカーと同じような形で、プロ野球の球団にも導入を働きかけていく考えた。



【会社概要】イーキューデザイン株式会社

▽本社＝横浜市鶴見区駒岡3-30 C-401

▽設立＝2014年8月

▽資本金＝800万円

▽事業内容＝自動撮影システム機器の販売